

# ハ乙女

## 祝 平成30年南砺市成人式



成人  
おめでとうございす

年の初めにあたつて

南山見自治振興会 会長 松田博志

新年あけましておめでとうございす。清々しい平成三十年の初春を、家族おそろいでお迎えになられました事、心からお慶び申し上げます。

昨年中は自治振興会の事業に対し、格別なご理解、協力を賜り厚く感謝申し上げます。

昨年はこの地区にとって大きな節目の年でありました。南山見公民館が七十周年、南山見自治振興会が四十周年を迎えて記念事業を開催致しました。先人達が築いてこられた緑豊かで心温かい「わが郷土」に感謝し、次代を見据えた「地域づくり」の問いかけが出来た記念イベントだったと言えます。

今年の大きな課題として

小規模多機能自治への取り組みがあります。目的としては、人口減少や少子高齢化が背景にあり、「地区全体の組織づくり」が自治振興会に求められています。地区においては、公民館や地区のあらゆる団体と同じ目線で議論を進め、「自分たちの地域・自分たちの力で・元気にしていく」そんな地域づくりを目指していきます。

「平成」が来年の四月三十日で終わります。私たちは、平成という時代の先を見据えて歩み始めていきます。

高齢者や次代を担う子供たちを想い、暮らしやすい地域づくりのために、地区の皆さんと共に、確実に歩み続けて参りたいと、年の初めにあたり心を新たにしているところであります。

結びに、地区の皆様方のご健勝とご多幸を祈念して、新年の挨拶と致します。

遠き日の 春の遊びを ふとこえり

お手玉いくつ うかぶまなうら

篠原とみ子



# 成年の

## 新年を迎えて

### 目標にむかって



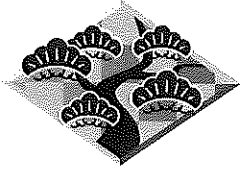
瀧田 翼  
(平成18年生)

今年の目標は、全力でやりきって結果を出すことです。

ほくは、保育園の時からサッカーをやっていますが、小学校最後の今年は、今まで練習をしてきたことを出しきって、すべての試合に出場してチームが勝てるように頑張りたいです。今年の十月から行われる全日本少年サッカー大会県予選で優勝して全国大会に出場したいです。

あと砺波選抜に選ばれて活躍したいし、U12富山県トレーニングセンターに合格するためにボールコントロールと判断力をきたえていきたいです。

こうやって好きなサッカーをやれるのも友達や家族のおかげなので感謝の気持ちを忘れずに全力でがんばりたいです。



### 六年生



篠原 沙那  
(平成18年生)

私は今年六年生になるので、最高学年としてみんなの手本になるようにがんばりたいです。六年生になると新しい一年生のお世話をしたり、いろいろな式の準備などをしたりします。下の学年といっしょに学習することもありますが、下の学年をまとめられるように仲間と協力し合ってがんばりたいです。

また、六年生になると連合運動会や立山登山などがあるので、体力づくりをしたいと思います。去年の冬休みに水ぼうそうになったので健康にも気を付けたいです。

そして、持久走など小学校ではあと一回しかやれないことが多いので、くいが残らないようにがんばりたいです。

### 今年の抱負



篠原 天馬  
(平成6年生)

早いもので、昨年四月に社会人となり、今年で二年目を迎えます。

私の今年の抱負は「初志貫徹」です。これは、初めに心に決めた志を、最後まで貫き通すという意味です。昨年は、右も左もわからず、先輩方に助けていただけばかりで、自分の目標や仕事の中途半端に終わってしまうこ

とがありました。そこで、社会人二年目となる今年は、安心して仕事を任せてもらえるように、自分自身のスキルアップを図るとともに、初心を忘れず、高い志をもって仕事に打ち込んでいきたいと思っています。

### 挑戦



横江 千夏  
(平成6年生)

時が経つのは早いもので、私は今年で二十四歳になり、三度目の成年を迎えることができました。

この歳になるまで、嬉しかった事、楽しかった事、失敗した事など多くの出来事がありました。これらの経験ができたのは、家族や友人、そして、私の周りで関わってくれた全ての方々のおかげだと思います。そんな方々への感謝の気持ちを忘れずに、これからは自分が、皆さんを助けてあげられるようになりたいと思っています。

そして、今年は今まで経験していない事に積極的に挑戦して自分の価値観・世界観を広げたいと思います。

### 笑顔



前田 吉昭  
(昭和57年生)

早いもので、今年四回目の成年を迎えることができました。

今年の抱負は「笑顔」です。

息子が小学校六年生になり、サッカー熱がはいる年になると思います。それに加えてサッカーワールドカップが開催される年です。もうワクワク感が止まりません。

一方、仕事では、昨年より責任ある立場で、難しい課題を任せられ、日々頭を悩ませています。今年はそのらを笑顔でこなせるようになりたいと思っています。

プライベートでも仕事でも笑顔を絶やさぬよう、日々頑張っていきたいです。

### 始まりの年



高橋 直子  
(昭和57年生)

今年四回目の成年を迎えることができました。そして、この二月で夫婦で院瀬見に越して来て四度目の春を迎えます。

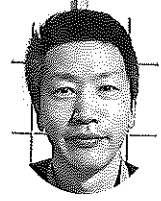
大家さんとのご縁をいただき、家と院瀬見の風景に惚れこんで、ここで暮らしています。

今は、私たちの夢であった二人での仕事を始めようと、昨年からはブックカフェの開店準備を進めています。当初の予定より遅くなりましたが、いよいよ三月にオープンします。

また、子宝にも恵まれて家族三人での生活が始まります。

今年は、これからの人生の起点になる年となりそうなので、大切に過ごしたいと思っています。これからもよろしくお祈りします。

### 年男を迎えて思う事



山田 秀孝  
(昭和45年生)

月日が経つのは早いもので、五回目の戌年を迎えることができました。この十二年を振り返ると、周りの皆様方の協力やご指導のおかげで、子供達のスボ少のお手伝いをしたり、地域の役員など、今までにない大役をやらさせて頂きました。また、新たにゴルフにも挑戦し皆様方と楽しくラウンドさせてもらっています。

### 六十歳を迎え



藤崎 進  
(昭和33年生)

さて、最近の仕事に追われ、いかにストレスを解消するかと考える日々です。お酒ばかりに逃げず、新たにできる解消方法を見つけ、健康で楽しい日々を過ごしたいと新たな年を迎え強く感じました。子供達もずいぶん成長し負けてはいられません。日々一日一日を大切にストレスをためないよう皆様方の支えによって自分が生かされている事と思い、与えられた役割を健康で頑張っ行ってきたいです。

いつの間にか早くも還暦。これまで、何事もなく生きてこれたのも、わがままな私を笑って支えてくれた妻と多くの仲間たち。そして、色々な方々

のおかげと感謝しております。

六十歳といえば、老人クラブの仲間入りですが、気力、体力ともにまだまだだと思っています。とはいえ、いつ何時災害が降りかかるやもしれない時代。この先、十年、二十年と悔いなく生きられるように、まずは脳の活性化、体力の維持、そしていろいろな趣味を持ち、多くの方々とのかわりの中、人様に迷惑をかけず、慕われるような豊かで平穏な日々を送ればと願っています。

### 還暦の年の第二の人生



高田 多真美  
(昭和33年生)

人生の節目の還暦を迎え、第二の人生を考えました。振り返ると南山見に嫁いで来て四十年余り。地域活動の婦人会、スポーツ推進委員会などの参加とお世話。いろいろたいへんな事もありましたが、家族の理解と地域の方々を支えてもらいながら、やってこられたと感謝しています。



今年三月末で会社の定年を迎えるにあたり、体力気力の衰えを痛感したため、第二の人生を歩むことに決めました。家族は、四世代同居の八人です。孫二人のパワーをもらい、健康で明るい毎日を送って行きたいと思っています。

### 感謝の心



高橋 良治  
(昭和21年生)

時の流れというのは本当に早いものです。昭和二十一年、団塊世代に生まれ、常に競争にさらされる中、一心不乱に仕事に邁進してきました。

四十二歳で事業を起し、六十五歳で心臓の手術を乗り越え、今だ現役で働いております。その陰で妻には大変苦労をかけたと思いますが、今もなんだかんだと寄り添ってくれ支えてくれていることに感謝しております。

しかしながら、日々の生活の中で感謝を伝えられているかというところであります。その妻も同じように年齢を重ねて参りました。人間限られた時間があるということであらためて認識し、日々感謝しながら、互いに楽しみや笑顔を忘れず一緒に過ごしていけたらなと思っています。

### 成年に思うこと



井上 智子  
(昭和21年生)

終戦の翌年成年、復興に程遠い物の無い時代に生まれ、生活の苦労は大変だったことと思います。

昭和三十三年の戌年は富山国体の年。当時、南山見小学校六年(同級生四十四人)だった私たちは、堀静枝先生

に器楽の面白さを学び、富山市公会堂で器楽大合奏をし、農村の小さな学校の演奏に賞賛を頂いたことを思い出します。

何回かの戌年を経、前回の戌年少し前に退職、三世代同居。縁あって地域福祉活動に携り、馴染みのなかつた地域の人達と関わり元気を貰っています。今や深刻な高齢化の問題は前々回の戌年の頃に想像していたでしようか。痛切に人・地域の絆の大切さを感じるこの頃です。次の戌年に向け日々大切に過ごして行きたいものです。

### 八十余年の想い出



岩崎 美津子  
(昭和9年生)

ボランティア活動に参加し、マーシ園へ行つて、布団の掛布・敷布の取りかえ、部屋の清掃等、色々しました。井波デイサービスでは、風呂から上がられた方の髪を乾かしたり、お茶を渡したり、手伝いをしました。

農業をとり巻く環境は、明るいものではありませんが、農業は定年退職がある仕事ではありません。

大自然の中で働ける幸せを感じ、皆様に協力して頂き、今年一年働けたらよいと思っています。





# 第40回 八乙女文化祭

11月12日(日)  
八乙女文化祭が開催されました。

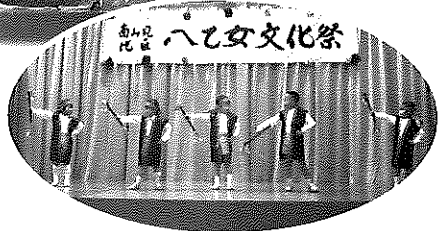
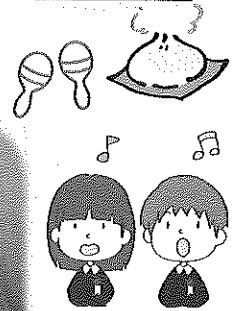


当日は、晴天のもと少し寒い模様でした。地区内外から多数の方々が公民館に来てくださり、大いに盛りあげていただきました。

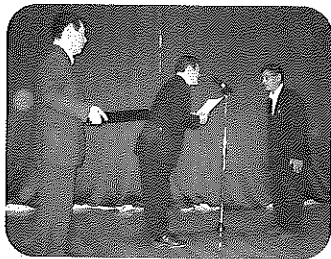
今年度の南山見地区八乙女文化祭は、第40回を迎えました。その記念オープニングステージで越中井波八乙女風神太鼓の演奏や木遣り唄、風神、井波ばやしが披露されました。ステージ発表では、にじいろ保育園、ピアノ教室、各児童クラブの子供たちが一生懸命に練習した成果を元気よく発表しました。午後からも、各グループの踊りや大正琴、詩吟などの披露があり、もつ煮、肉まん、お菓子など食べながらの、大盛況でした。

館内では、各種団体の活動発表や作品展示、農産物の品評会、各模擬店、食堂、売店、お茶席など終始賑やかな雰囲気のなかでの交流の一日でした。

これからも、地域の方々と共にこの文化祭を盛り上げていきたいと改めて思いました。(成年部 前田 洋一)

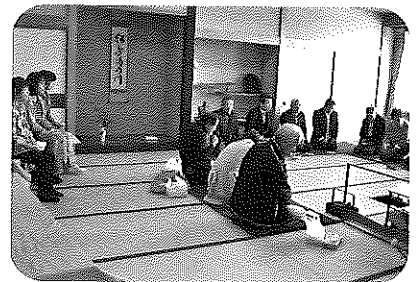


## 大盛況! 農産物品評会

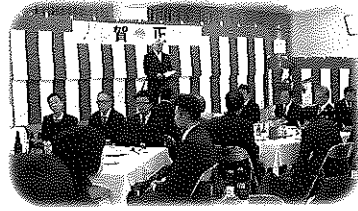


恒例の農産物品評会に、14品目48点という昨年を上回る出品をしていただき、誠にありがとうございました。どの農産物も形、色、艶等申し分なく、甲乙付け難い品質でしたが、となみ野農協の杉本様と上田様に審査していただき、優秀農産物を選ばせて頂きました。入札による販売もさせていただき、合計8,600円の売り上げがありました。驚いたことに、審査員のお二人にお聞きしたところ、となみ野広しといえども、文化祭で農産物品評会をしているのは南山見公民館だけということです。これからも、この輝かしい伝統を受け継いでいかなければならないと、気持ちを新たにいたしました。今年度も農産物品評会は大盛況でした。(田中 一昭)

この輝かしい伝統を受け継いでいかなければならないと、気持ちを新たにいたしました。今年度も農産物品評会は大盛況でした。(田中 一昭)



# 新年の集い



一月四日、南山見公民館に於いて「新年の集い」が開催されました。この日は、山田井波行政センター長、才川南砺市議会議長、豊川マーシ園施設長等のご来賓の方々にもご臨席を賜りました。

自治振興会設立の周年記念事業が盛大に行われたことや、小規模多機能自治への今後の対応など、ご挨拶がありました。

山田井波行政センター長より、昨年は大規模公共事業が行われ、また、今年には日本遺産登録を目指すことと述べられ、地域発展のため取り組んでいくという、ご挨拶がありました。

才川南砺市議会議長より、人口減少問題や南砺市庁舎の問題など、これからの地域のあり方などについて述べられました。

続いて、前田由美子さん、小橋外喜雄さんの詩吟が披露され、碓井南山見公民館長のご発声で乾杯し、宴が催されました。終始、和やかな雰囲気新年を迎えることができました。



(南山見地区町内会長 代表 銅 明浩)

## 児童クラブ活動報告

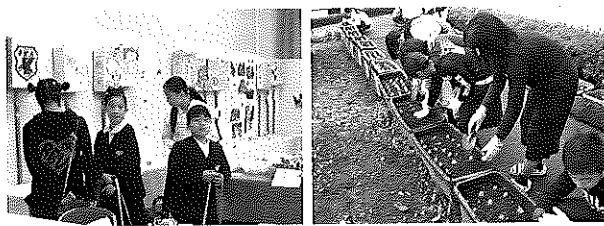
### 花壇作りと文化祭展示作品づくり

児童クラブでは、昨年の十月二十九日(日)に花壇づくりと八乙女文化祭に展示する作品づくりを行いました。

四年生から六年生は、地域の「花と緑の銀行」のグリーンキーパーさんの協力と指導をいただきながら公民館前にチューリップ等の球根の植え付けを行いました。その後、大鳥絵本館クラフト教室の方を講師に迎え、八乙女文化祭の展示作品としてジェルキャンドルづくりをしました。個性があるジェルキャンドルができあがり児童たちの嬉しそうな顔が印象的でした。文化祭でジェルキャンドルを見られた地域の皆さんも児童たちの作品に癒されたのではないのでしょうか。

また家庭に持ち帰って飾って眺めてインテリアになっているのが想像できます。

(児童クラブ 瀧田 豊史)



### クリスマス会

児童クラブでは、昨年の十二月十日(日)に児童が楽しみにしているクリスマス会を行いました。

例年だとクリスマスツリーの飾りつけでしたが、今回は参加した児童全員が公民館の研修ホールの飾りつけができるようにと窓ガラスへの飾りつけを行って会場づくりができました。

その後、おいしいケーキを食べ、突然現れたサンタクロースからお菓子のプレゼントをもらいサンタさんとのビンゴゲームで楽しい時間を過ごしました。

今後もこのように児童が地域に集える場を工夫して、楽しみにしてもらえようという気持ちで活動に協力したいと思います。

(児童クラブ 瀧田 豊史)

## 公民館事業に参加して



氷見から沖に来て三年。はじめに、にじいろ保育園南山見父母の会代表の依頼を受けたときは、南山見地区では知っている人も少なく戸惑いでしたが、早くこの地区に馴染むためにも少しでも自分の顔と名前を覚えてもらおうと思いました。

氷見では、八乙女フェスティバルや文化祭、ソフトバレーボール大会、運動会などのような行事はなかったのが驚きでしたが、いろんな世代の方々と交流でき、いろんな話を聞かせてもらい勉強になりました。しかし、参加して強く感じたのは、自分と同世代の人が少ないということです。地方の過疎化が進んでいます、もつと若い人にも行事に関心を持ってもらい、参加が盛んになれば南山見地区がもっと盛り上がりつつあると思います。そして地区の子供たちに残していければと思います。



(にじいろ保育園父母の会 高田 好史)

# 成人をお迎える皆さんおめでとうございます

一月七日井波総合文化センターにおいて、井波地域成人式が行われました。

南山見地区からは七名の新成人が出席し、旧友たちとの再会を喜び合い、大人の自覚と社会人としての心構えを新たにしていきました。

「新成人の集い」実行委員長を務めた、高田泰知さんに成人を迎えるの抱負を伺いました。



高田泰知 (戸板)

成人式を迎えて、私は現状に満足せず、常に自分を成長し続けていきたいです。

私は今、一人暮らしをしながら医療福祉の学校へ通っています。今までは野球で親にたくさん迷惑をかけてきたので、これからは親に頼らず、一人で生きる力をしっかり身につけていきたいです。そして、自分の夢に向かって学業に専念し、周りから信頼の得られる人間になります。



## 「富山県農村文化賞」受賞

### おめでとうございます

昨年十二月に、院瀬見環境保全委員会は「第六十六回富山県農村文化賞」を受賞することができました。このことは、平成十九年に当委員会を設立して以来、この事業に取り組んでこられた先輩諸氏や地域の皆様のご尽力の賜であり、深く感謝申し上げます。従前より、地域の資源維持活動は、自治会等により取り組んできたところですが、この「農地・水・環境保全向上」の取組では、資源維持に加えて環境保全にも光が当てられています。

当委員会では、設立当初からラベンダーを地域の中心部の幹線道路沿いに植栽し、「ラベンダー街道」と称して、現在まで維持管理を行ってきています。今回の選考においては、これが、景観形成とハーブの効用により、多くの人たちに憩いの場を与えているとして、受賞につながったと聞いています。

私自身としては、どちらかというと消極的であった地域環境について、この活動により改めて認識する機会が増えたところです。少子高齢化・人口減少が進み、カラス・イノシシ等の鳥獣が跋扈する昨今、こうした取組にも厳しさが増してきており、大変悩ましいところですが、更なる地域環境づくりに向けていきたいと考えています。

(院瀬見自治会長 山本 保彦)



## 南山見人口

男	489名 ( 507名)
女	532名 ( 540名)
計	1,021名 ( 1,047名)
世帯数	266戸 ( 270戸)

平成29年12月31日現在 ( )は昨年度 住民基本台帳より人口は、マーシ園の60名を含みます。

何年ぶりでしょうか。記録的な寒波に見舞われ、日中でも氷点下の日が続いています。過日は、南岸低気圧の影響で関東方面では二十センチを超える積雪となり、たくさんのが人が出たり、交通網が麻痺状態になったりで大変でした。南山見地区も積雪は例年以上で、五十センチはすでに越えたようです。地区内はもちろん、南砺市内の除雪はともきれいにされているので、高岡方面からいらした方が、とても驚いておられました。朝早くからの丁寧な除雪に感謝です。さて、ここに、館報一〇〇号をお届けします。快く寄稿くださいました皆様には感謝申し上げます。(館長)

## 編集後記

## 行事予定

2月11日(日) 午前9時～ 第29回 南山見地区 「三世代交流の集い」

2月20日(火) 午後7時30分～ 平成29年度 公民講座 「富山県内における 災害について」